



西合志南小学校 学校だより 文責 田中 宏和

西南小の風

だれかのために じぶんのために いっしょうけんめい

大人の背中

令和5年9月11日
第20号

西南小6年生の規範意識(R5全国・学力学習状況調査 児童質問紙調査結果より)

	質問項目	全国	自校
規範意識	人が困っているときは、進んで助けていますか	91.6	87.4
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.9	96.0
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.9	95.3

西南小児童の規範意識(R5合志市標準学力調査 i-check(質問紙調査)結果より)

	質問項目	全国	自校
6年	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	77.0	83.2
	公共の場所や乗り物の中では、人にめいわくをかけないように気をつけていますか。	95.0	96.6
	学校の規則や、クラスで話し合って決めたことを、守っていますか。	87.6	89.3
5年	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	77.4	85.8
	公共の場所や乗り物の中では、人にめいわくをかけないように気をつけていますか。	94.7	92.2
	学校の規則や、クラスで話し合って決めたことを、守っていますか。	87.4	91.5
4年	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	78.5	79.5
	学校のさそくや、クラスで話し合って決めたことを、守っていますか。	86.3	89.0
3年	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	78.2	78.5
	学校のさそくや、クラスで話し合って決めたことを、守っていますか。	86.8	89.6
2年	「おはようございます」、「こんにちは」を きんじょの人に していますか。	79.9	80.1
	がっこうや クラスの きまりを まもって いますか。	93.8	96.5

インフルエンザが流行しております。この三年間の新型コロナの拡大に伴い、主に飛沫感染を想定した大規模な感染対策が行われたことによる免疫力の低下が原因と言われています。かなり高熱が出る場合があるようです。気をつけましょう。さて、話は変わりますが四年生道徳授業にゲストティーチャーとしてお招きいただきました。学習の主題は「規則の尊重」です。公共の場所でのルールを守れず自分本位な行動を取ってしまったというお話が書かれた教材をもとにして、ルールの意義や良さについて考え、守っていく実践意欲や態度を育てていくことが学習の目的です。ルールは全てが明記されているわけではないものもあるし、不文律もあります。

一方で、県下では近年規範意識が低下する傾向が見られるようです。本校の子どもたちの実態を見てみましょう。左は四月に行われた全国学力学習状況調査と、市学力調査における質問紙調査の結果です。(数値は肯定率です)

本校の六年生は全国を下回っていますが、わず

か三つの質問のみで彼らの規範意識の有無を判断するわけにもいかないなど、これまでの六年生の様子を見ながら思うわけです。この調査の直後の運動会であれだけ周りを感動させた彼らがこんなはずはないだろうと思うのです。肯定するための彼らの判断基準が厳しいととれるのです。

一方で、表下段の市学力調査の結果では二年生以上の学年で、一項目を除き全国平均を上回りました。六年生に関しては矛盾が生じますが、そもそも質問内容が違いますから比べようがありません。一つの指標としては受け止めますが、その上で個人的には前向きな捉え方をするようにしています。おみくじは、大吉しか信じません。

話はそれでしたが、四年生の子どもたちは、明記されたルールだけでなく、様々な場所や状況の中で守るべきことや心がけるべきことをしっかりと考えていました。まさに今年の合言葉、「だれかのために じぶんのために いっしょうけんめい」な姿でした。私は、休み時間後のトイレのスリッパを写真に撮って見せながら話しました。すばらしく並んでいるときもあれば、グジャグジャの時もあります。そして、並んでいることの良さをみんな感じています。そんな感覚が道徳的実践力(スリッパを並べることに)につながるように、引き続き日常から指導していきますし、子どもたち自身も委員会活動を中心に取り組みます。

私は毎朝ゴミ拾いをしていてという理由で授業に招かれました。実は、校門での挨拶やゴミ拾いをする私に、「いつもありがとうございます」と声を掛けてくれる児童がいます。「こんな言葉をかけてくれる子がいるんだ!」と、ビックリして大感動しました。私は、マイルールとしてゴミ拾いをしていきますが、日々挨拶やゴミ拾いを続けるのは、この児童の言葉に背中を押されているからでもあるのです。そんな押される私の背中の子どもにはどう映っていたのでしょうか。大人としてシヤンとした背中を見せたいものですね。

か三つの質問のみで彼らの規範意識の有無を判断するわけにもいかないなど、これまでの六年生の様子を見ながら思うわけです。この調査の直後の運動会であれだけ周りを感動させた彼らがこんなはずはないだろうと思うのです。肯定するための彼らの判断基準が厳しいととれるのです。

一方で、表下段の市学力調査の結果では二年生以上の学年で、一項目を除き全国平均を上回りました。六年生に関しては矛盾が生じますが、そもそも質問内容が違いますから比べようがありません。一つの指標としては受け止めますが、その上で個人的には前向きな捉え方をするようにしています。おみくじは、大吉しか信じません。

話はそれでしたが、四年生の子どもたちは、明記されたルールだけでなく、様々な場所や状況の中で守るべきことや心がけるべきことをしっかりと考えていました。まさに今年の合言葉、「だれかのために じぶんのために いっしょうけんめい」な姿でした。私は、休み時間後のトイレのスリッパを写真に撮って見せながら話しました。すばらしく並んでいるときもあれば、グジャグジャの時もあります。そして、並んでいることの良さをみんな感じています。そんな感覚が道徳的実践力(スリッパを並べることに)につながるように、引き続き日常から指導していきますし、子どもたち自身も委員会活動を中心に取り組みます。

私は毎朝ゴミ拾いをしていてという理由で授業に招かれました。実は、校門での挨拶やゴミ拾いをする私に、「いつもありがとうございます」と声を掛けてくれる児童がいます。「こんな言葉をかけてくれる子がいるんだ!」と、ビックリして大感動しました。私は、マイルールとしてゴミ拾いをしていきますが、日々挨拶やゴミ拾いを続けるのは、この児童の言葉に背中を押されているからでもあるのです。そんな押される私の背中の子どもにはどう映っていたのでしょうか。大人としてシヤンとした背中を見せたいものですね。



日中の暑さによりなかなか外遊びができない状況の中、日課を工夫して朝遊びの時間を延長する日を設けました。子どもたちは土煙がたつほど走り回っていました。